

CO₂削減マニフェスト(取組内容)

大項目	小項目	具体的取組	2020年度までの数値目標
事業所の 省エネ	エネルギー管理体制	各種設備機器の効率低下を防止する為定期的に保守点検する。	
	空調・換気	空調の設定温度を適正に管理してエアコンの使用を出来るだけ控える。	夏季 28℃ 冬季 18℃ 運転時間 9:00~16:00
	ボイラー・給湯	使用しない場合、種火も消す。	
	照明・昇降機	照明のスイッチを別回路にして不要な区画の点灯を削減する。	導入予定年: 2015年
	事務用機器・ 業務用機器・ 産業用機器	節電モードを積極的に利用して待機電力の削減を図る。 効率の良い生産計画で焼成炉を稼働させ、燃料・電気量の消費を少なくしCO ₂ の削減を図る。 効率の良いOA機器に変え電気量を削減	導入予定年: 2017年
	再生可能エネルギー・ コージェネレーションシステム・ 建物の断熱等・BEMS	グリーンカーテンの利用により建物の断熱を図る。	導入予定年: 2015年
	自動車	タイヤの空気圧等、燃費に影響する事に関心を持ちエコドライブを推進する。	
低炭素な 製品 ・ サービス	購入	CO ₂ 排出量の少ない商品を購入する。	
	製造・販売・提供	軽量・断熱性及びCO ₂ 削減に貢献する商品(ニューセラ瓦)の製造販売	
	運送・廃棄	製造工程の改善により廃棄物の削減に努める。	
従業員教育 ・ 社会貢献	従業員への啓発	公共交通、自転車を利用促進してマイカー通勤者の削減を図る。 省エネに関する話題を家庭において行うよう促す。	マイカー通勤者: 15名
	社会貢献		
その他			